

オフィス利用最適化および利用者利便性向上のための 社内共有スペース利用状況可視化事例

共用ブースの利用状況をリアルタイムに見える化して、利用効率と利便性の向上を実現します。

業種共通



オフィスの共用ブースにセンサーを設置して、利用状況に見える化します。自席からいつでも空き状況を確認できるため、利用効率と利便性の向上を実現。利用状況を分析することで、ニーズに応じた共用ブースの拡張計画にも役立ちます。

課題

Challenges

共用ブースの利用状況を把握して有効活用したい

- どの共用ブースが空いているかわからないため、わざわざ共用ブースまで足を運んで確認している。ブースの利用状況を自席から確認できるようにしたい。
- 共用ブースの利用を促進させたい。
- 利用ニーズに応じて共用ブースを設置したい。

ソリューション

Solutions

共用ブースの利用状況に見える化して利用効率を向上

共用ブースにセンサーを設置して、取得した赤外線データから人の動きを検知することで、共用ブースの利用状況に見える化。空いている共用ブースをリアルタイムに確認できるため、利用効率と利便性が向上します。

また、曜日や時間帯ごとの利用者推移を分析することで利用ニーズの把握が可能に。利用率の低かった会議室を共用ブースに切り替えるなど、施設の有効活用を促進できます。

特長

Features

リアルタイムに利用状況を把握

- 1分ごとに取得するセンサー情報から、在席の有無を検知。リアルタイムに空席状況がわかります。
- 実レイアウトに即したマップ上に、空席情報をプロットして強調表示。自席PCから一目で空席位置を把握できます。
- センサー情報から、曜日や時間帯ごとの利用者数推移を分析。利用状況を手動で集計する手間が省け、利用ニーズを簡単に把握できるようになります。

効果 Outcomes

共有ブースの利用効率と利便性を向上し、多様な働き方の実現をサポートします。

オフィス利用最適化および利用者利便性向上のための 社内共有スペース利用状況可視化事例

共用ブースの利用状況をリアルタイムに見える化して、利用効率と利便性の向上を実現します。

導入実績：株式会社日立ソリューションズ

オフィス



社内の共用ブースにセンサーを設置



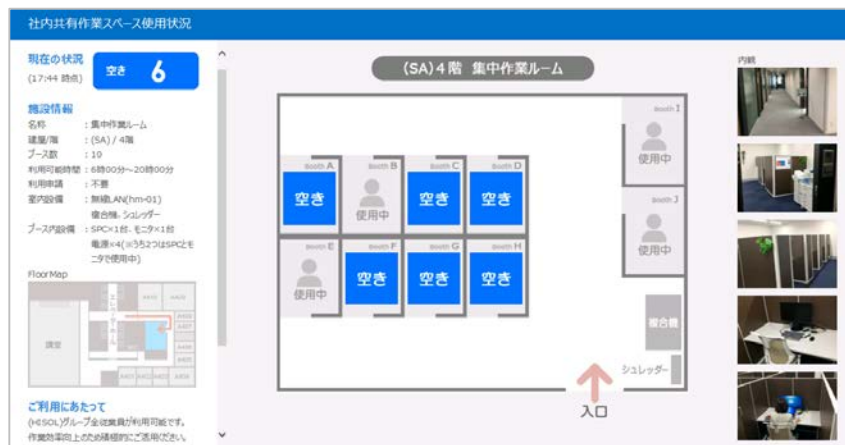
1分ごとに
データを収集

- 取得した赤外線データから、人の動きを検知して利用状況を把握
- 曜日や時間帯ごとの利用者数推移などを分析

蓄積・分析



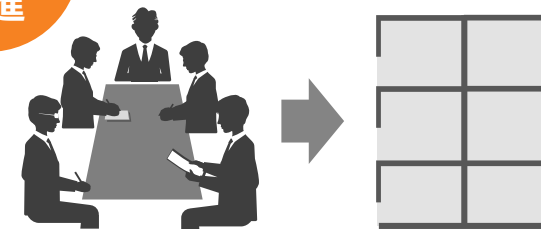
空席状況
見える化



自席から、共用ブースの空席状況をリアルタイムに確認

施設の
有効活用
促進

利用ニーズに応じて、利用の少ない会議室を共用ブースに切り替えるなど、ブース拡張計画にデータを活用



顧客価値

- 空席状況をリアルタイムに表示して、利用効率と利便性を向上。
- 利用ニーズを簡単に把握し、施設の有効利用を促進。